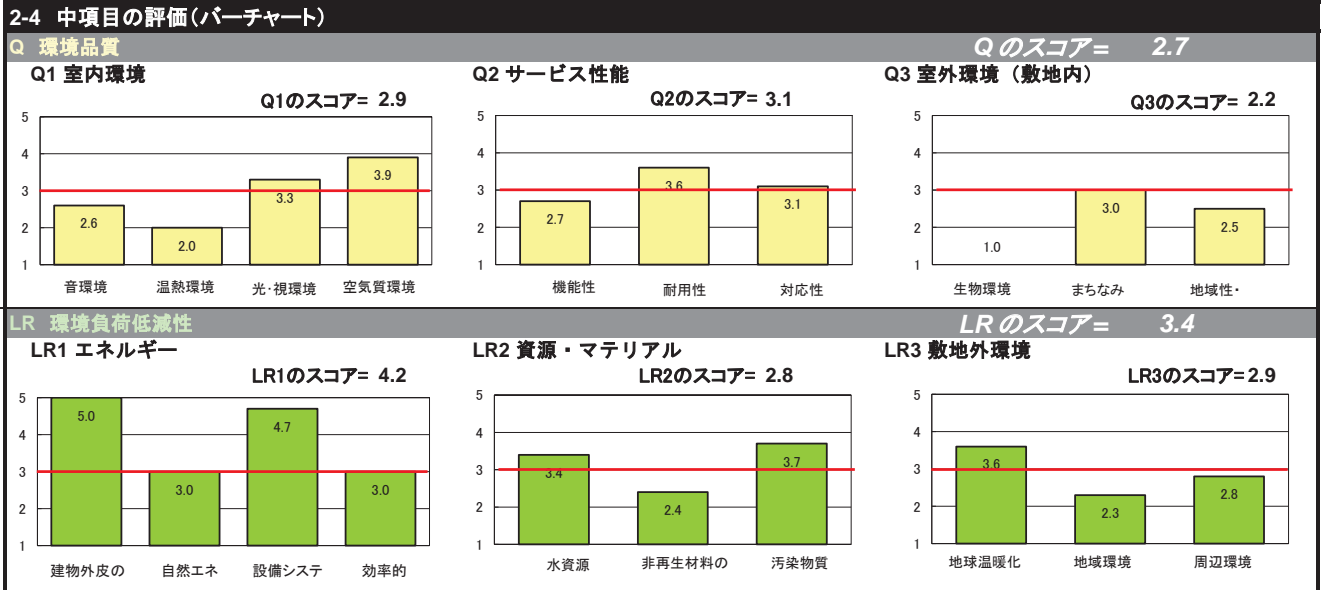
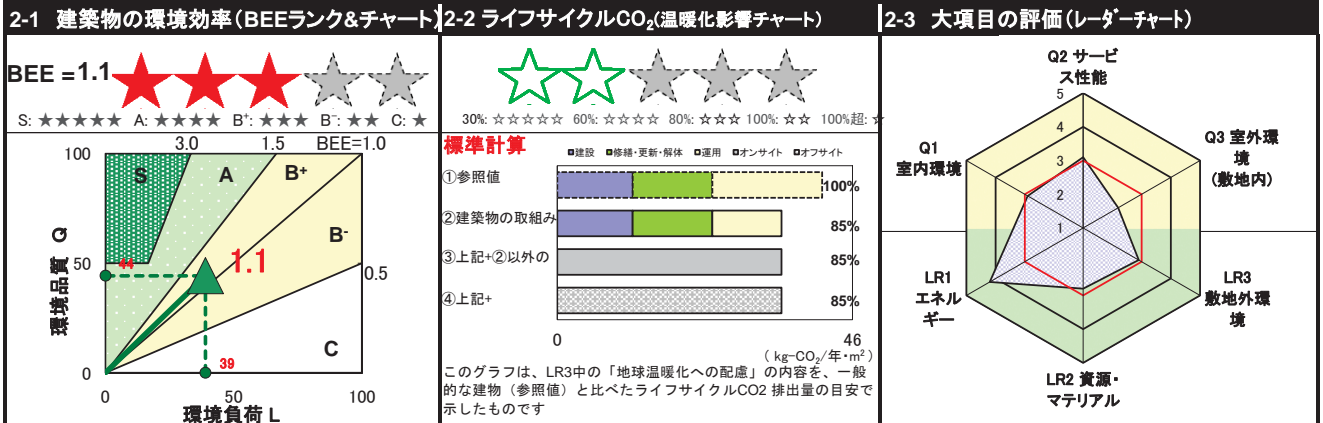


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	島田第四小学校校舎等建設工事	階数	地上3F、地下0F
建設地	静岡県島田市中河町201番地他70番	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、防火地域	平均居住人員	590 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2019年3月22日
敷地面積	22,525 m ²	作成者	小川 香織
建築面積	2,456 m ²	確認日	2019年3月25日
延床面積	6,277 m ²	確認者	高柳 輝行



3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮しF☆☆☆☆を採用している。また、主要内装材仕上げ材や給排水配管は耐用年数高い材料を使用している。CASBEE静岡2016年版による評価結果	その他 特になし。
Q1 室内環境	利用者に配慮しF☆☆☆☆を採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	断熱性能が高い材料を使用している。またLEDを採用し省エネルギー性を高めている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が85%
Q2 サービス性能	主要内装材仕上げ材や給排水配管は耐用年数高い材料を使用している。	
LR2 資源・マテリアル	省水型機器が設置されており省エネルギー性を高めている。断熱材は吹付け硬質ウレタンフォームA種3を使用し環境に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	島田第四小学校校舎等建設工事	BEE	1.1	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.7	/5	ふつつ			
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.1	/5	ふつつ			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.6	/5	がんばろう			
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.2	/5	がんばろう			
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		得点	3.7	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)				
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ④躯体材料の耐用年数: コンクリートの評価方法基準で等級2相当、 ④外壁仕上げ材の補修必要間隔: 45 2丁掛磁器タイル貼 40年、床ビニルシート貼20年、 ④主要内装仕上げ材の更新必要間隔: 壁:平石膏ボード(GB-R)30年、天井: 吸音GB-D30年、 ④空調・給排水配管の更新必要間隔: 給水:VA→B、排水:VP→B、給湯:VLP→C ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> 特になし。 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑦吹付け硬質ウレタンフォームA種3Iによる高断熱化。 ⑨LED照明の採用。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪省水型機器が設置されている。 ⑬GWPが低い発泡剤を使用している。 	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上		
	<ul style="list-style-type: none"> ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制 		LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
	<ul style="list-style-type: none"> ⑪ 水資源保護 ⑫ 非再生性資源の使用量削減 ⑬ 汚染物質含有材料の使用回避 		LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.1.1 ⑫ 2.1.2 ⑫ 2.1.3 ⑫ 2.1.4 ⑫ 2.1.5 ⑫ 2.1.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒
	<ul style="list-style-type: none"> ⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善 		LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)				
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑯静岡県地震地域係数(Zs)1.2×用途係数(I)1.25=1.5で計画している。 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備		
	<ul style="list-style-type: none"> ⑱ 機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり ⑳壁長さ比率が0.125452と小さいため用途・設備の変更が比較的容易である。 		Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ
<ul style="list-style-type: none"> ⑳ 地域性・アメニティへの配慮 		Q-3 3 3.1 ㉑	㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)				
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	Q-3 1 ⑳ 2 ㉑ 3 3.2 ㉒	⑳ 生物環境の保全と創出 ㉑ まちなみ景観への配慮 ㉒ 敷地内温熱環境の向上		
	<ul style="list-style-type: none"> ㉓ 温熱環境悪化の改善 		LR-3 2 2.2 ㉓	㉓ 温熱環境悪化の改善